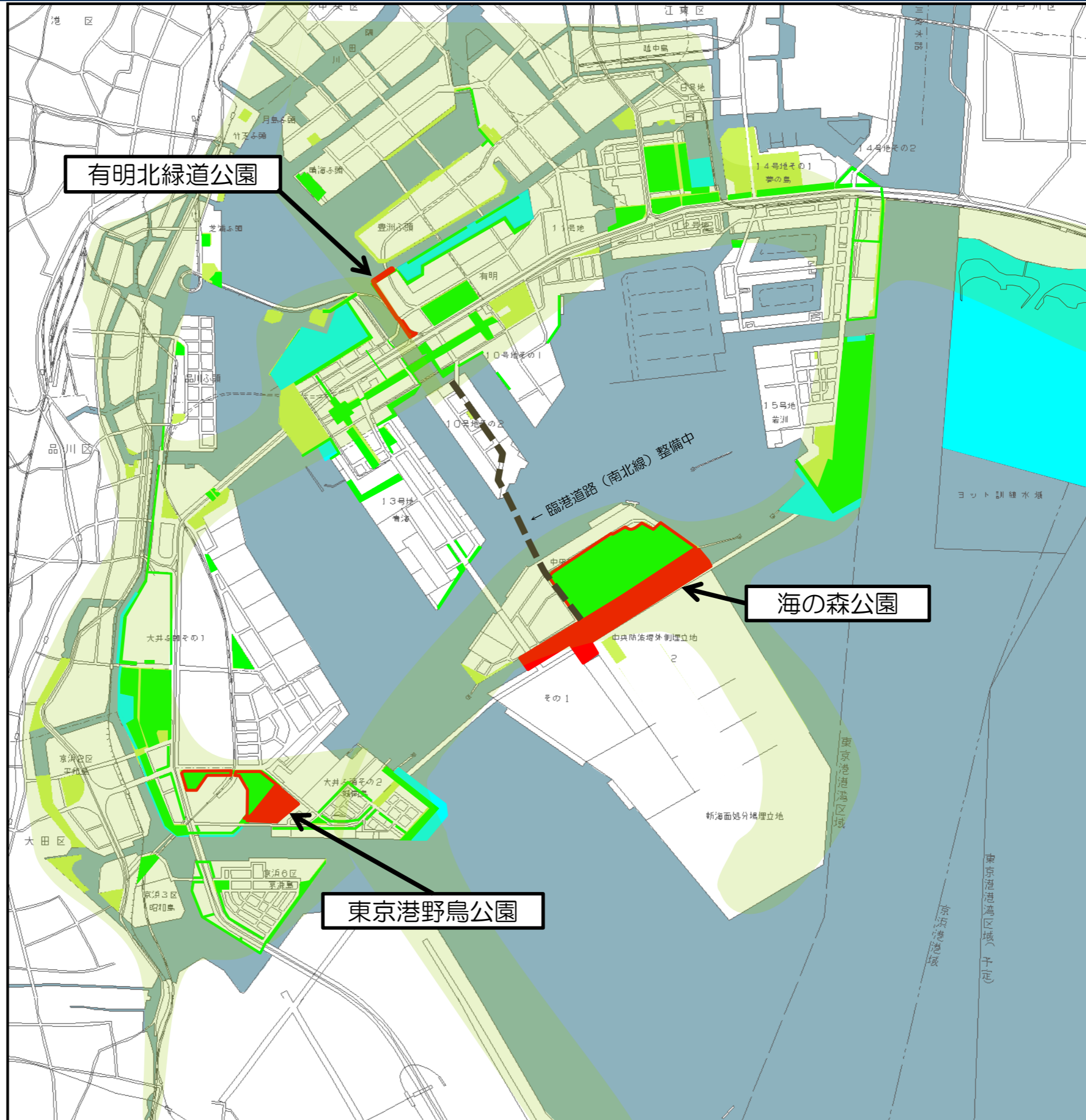


- ①有明北緑道公園
- ②東京港野鳥公園
- ③海の森公園



(凡例)

- 緑地（海上公園 陸域）
- その他緑地
- 海上公園 水域
- 海上公園 既定計画区域
- 海上公園 今回計画変更区域
- 水と緑・生物生息環境ネットワーク
(東京港第3次改訂港湾計画 資料より)

東京都海上公園計画の変更（案）について

変更内容

① 有明北緑道公園の新規計画について

1) 計画理由

東京港港湾計画及び臨海副都心有明北地区まちづくりマスタープラン・同ガイドラインに基づき、有明北地区における水と緑のネットワークを形成するため、有明北緑道公園を新たに計画する。なお、有明北その1緑道公園の既定計画区域については、今回計画区域に編入するとともに既定計画を廃止する。

2) 計画内容

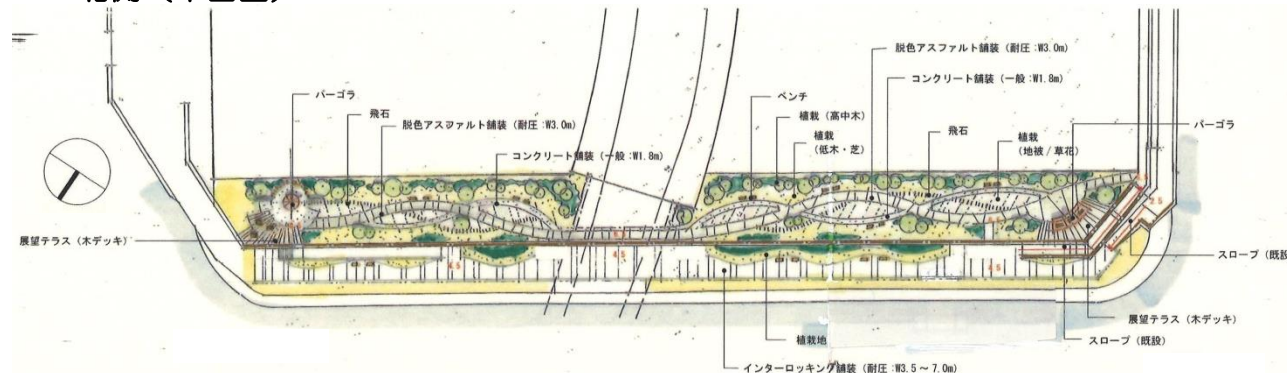
名称	ありあけきたりよどうこうえん 有明北緑道公園		種類	緑道公園
所在地	江東区 有明一丁目 及び 有明二丁目			
区域	下図のとおり			
面積	今回計画	2.6 ha	陸域	2.2 ha
			水域	0.4 ha
主な海上公園施設の種類及び名称	既定計画	— ha	陸域	— ha
			水域	— ha
交通手段の確保	1 植栽、芝生などの修景施設 2 散策路 3 ベンチなどの休養施設 4 展望テラスなど海の展望を楽しむ施設 新交通ゆりかもめ「お台場海浜公園駅」下車/徒歩7分 都バス（海01、都05、東16）有明一丁目下車			



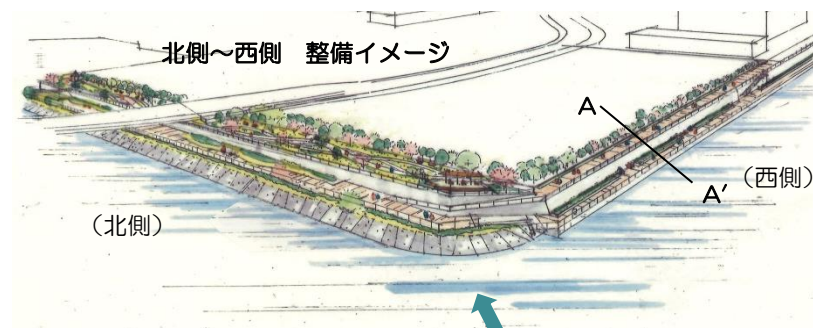
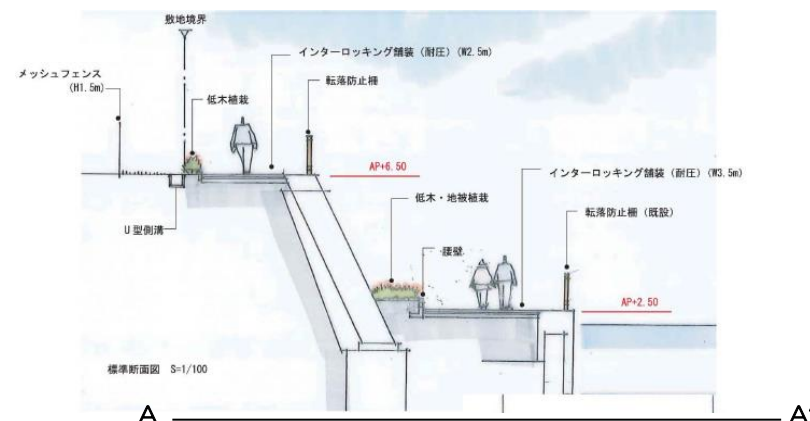
凡例
■ 今回計画区域
■ 今回廃止区域

3) 整備計画図

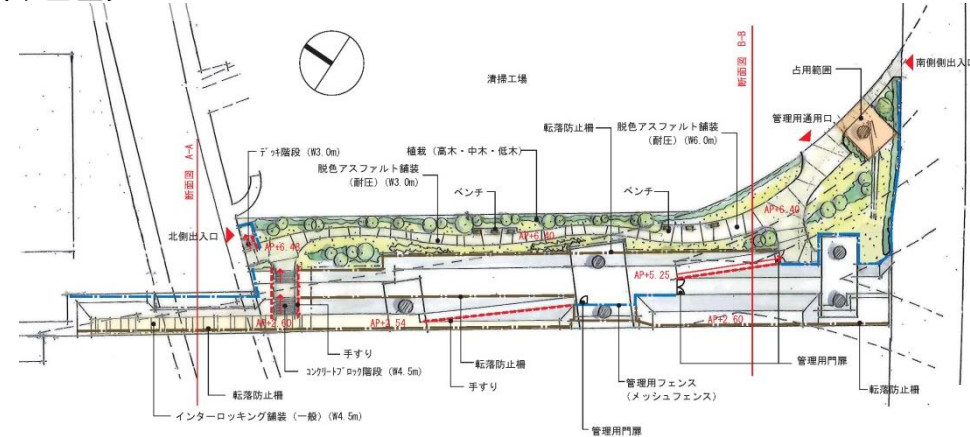
北側（平面図）



西側（断面図）



南側（平面図）



東京都海上公園計画の変更（案）について

変更内容

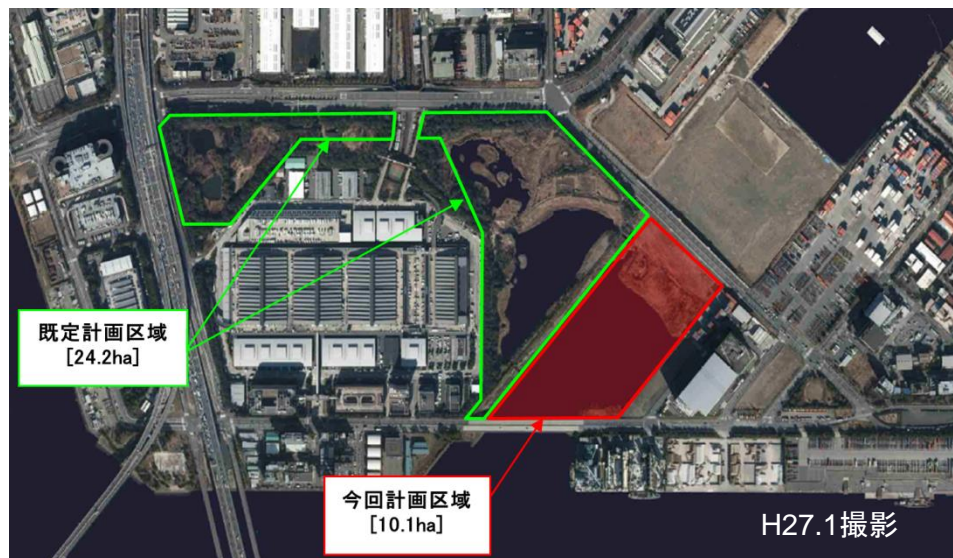
② 東京港野鳥公園

1) 変更理由

当該公園東南側水面に、多様な生物の生息環境を整備するため、陸域及び水域を拡張する。

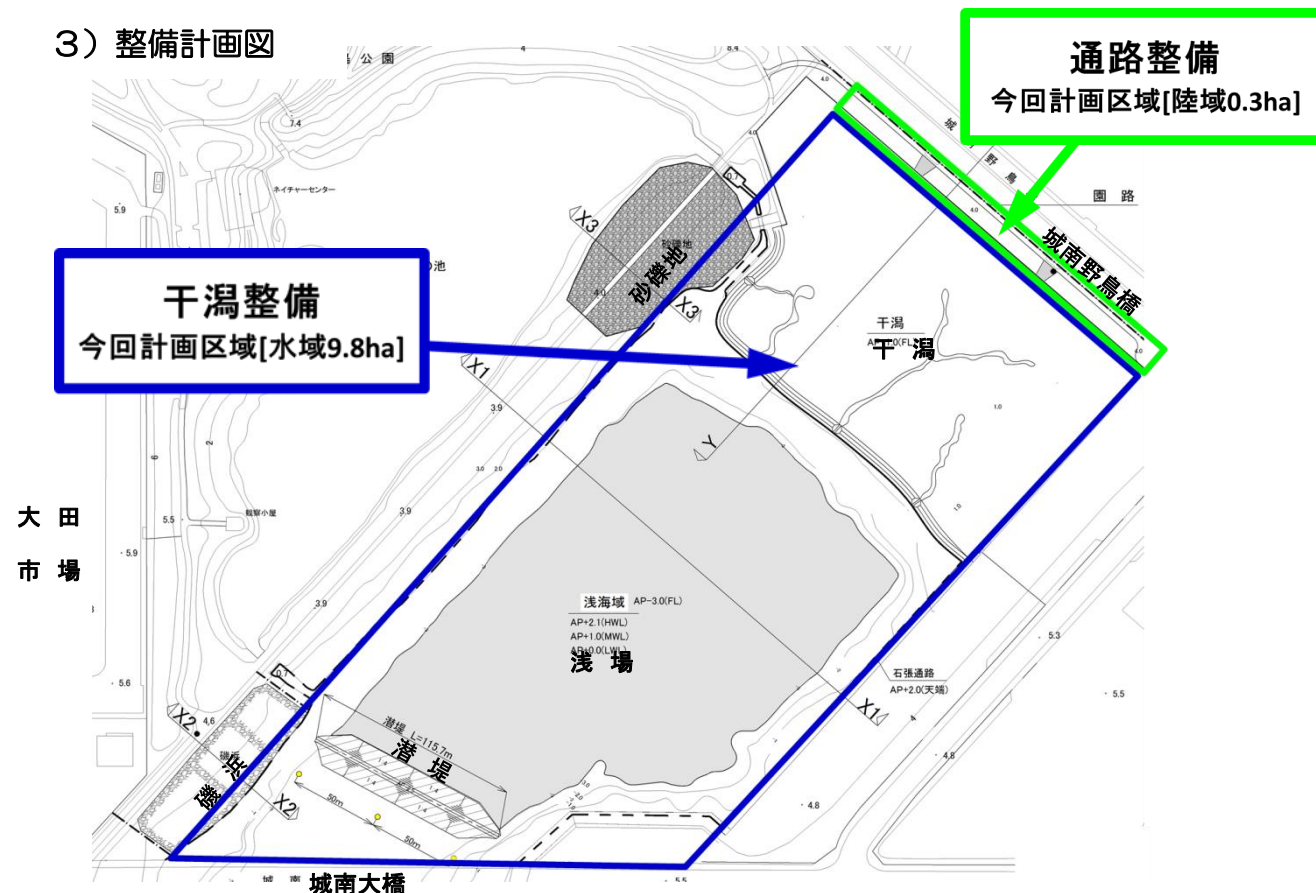
2) 変更内容

名称	とうきょうや ちよこうえん 東京港野鳥公園		種類	海浜公園
所在地	大田区東海三丁目			
区域	下図のとおり			
面積	変更計画	34.3 ha	陸域	22.1 ha
			水域	12.2 ha
	既定計画	24.2 ha	陸域	21.8 ha
			水域	2.4 ha
今回変更計画 増減	10.1 ha		陸域	0.3 ha
			水域	9.8 ha
主な海上公園 施設の種類の 及び名称	既定計画 1 海浜、干潟等自然環境の回復・保全のための水面 2 樹林地、草原等自然環境の回復・保全のための施設 3 汽水池、淡水池、湿生地等の野鳥生息施設 4 ネイチャーセンター等野鳥に親しむための施設 5 歩道橋 変更計画 変更なし			
自然環境 の保全	既定計画 自然環境の回復と野鳥の生息環境の保全を図る。 変更計画 変更なし			
交通手段 の確保	既定計画 1 モノレール、バスを利用する。 2 自転車ルートを整備を図る。 (現状) JR「大森駅」東口、京急「平和島駅」から京浜島循環(森24)、 昭和島循環(森25)、城南島循環(森32)、京浜島・昭和島循環 (森36,森45)、大田市場行き(森43)。 『野鳥公園』または『東京港野鳥公園』下車、徒歩5分。			

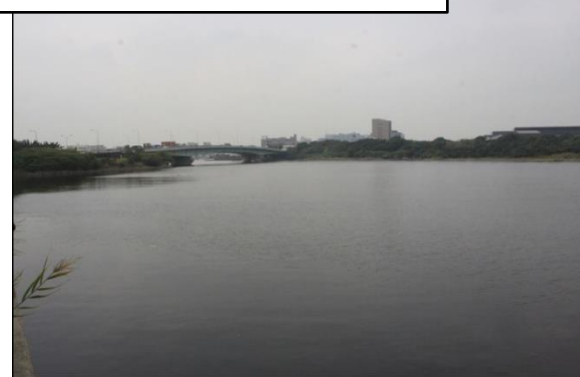


凡例
■ 今回計画区域
■ 既定計画区域

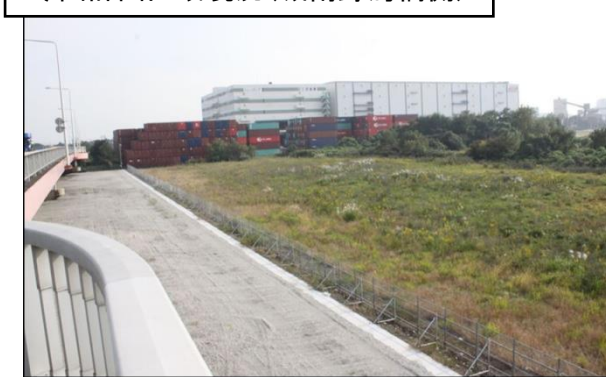
3) 整備計画図



今回計画区域現況(城南島側)



今回計画区域現況(城南野鳥橋側)



既定計画区域(野鳥観察)



既定計画区域(田んぼ管理)



東京都海上公園計画の変更（案）について

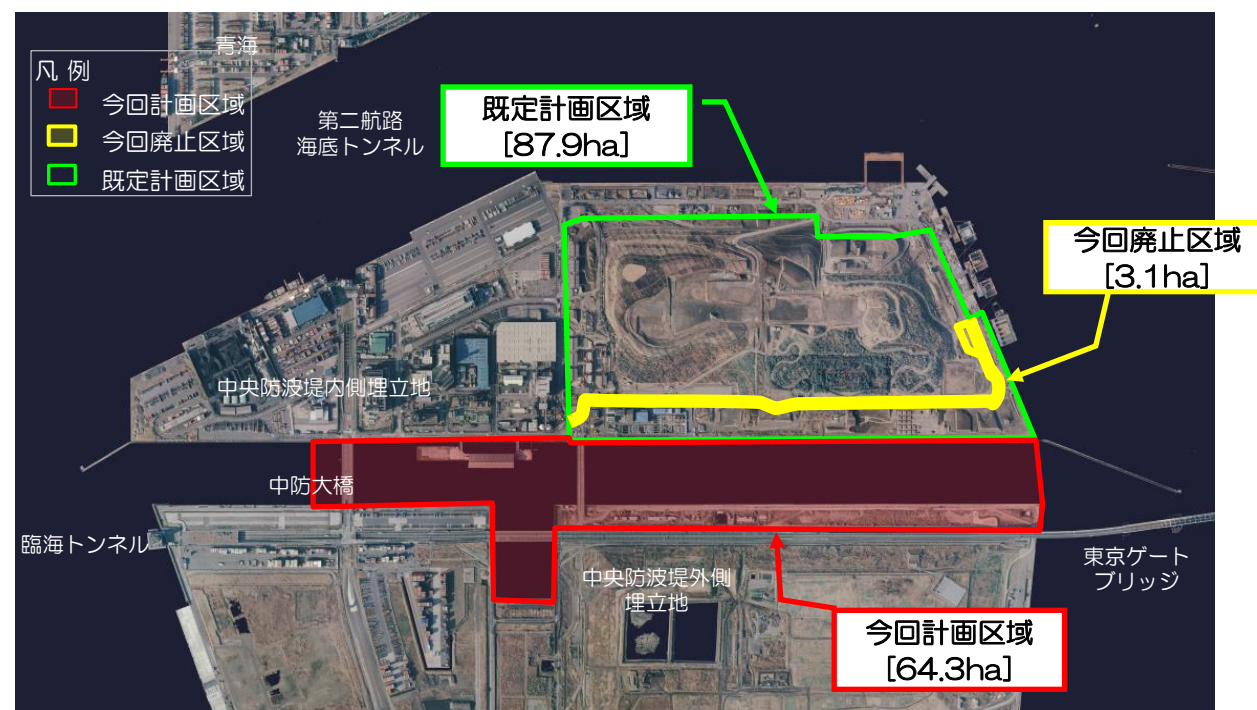
変更内容

③ 海の森公園

1) 変更理由

海上のレクリエーション機能の向上を図るため、東京2020大会の水上競技場計画地を海の森公園計画区域に編入するため海上公園計画を変更する。また、東京2020大会に合わせて整備を行う道路区域について、海上公園計画を廃止する。

2) 計画位置



3) 施設概要 ※整備主体：オリンピック・パラリンピック準備局

競技コース	ボート《2000m×8レーン》 カヌー（スプリント）《1000m×9レーン他》
観客席数	約2000席（東京2020大会時 約24000席）
主な施設	<ul style="list-style-type: none"> ・グランドスタンド棟 ・艇庫棟 ・フィニッシュタワー ・締切堤（東側、西側、各約176m） ・水門（東側、西側、各1か所） ・揚水・排水施設（東側（揚水）、西側（排水）それぞれ1か所）

※今後の検討によって変更となる場合があります。

4) 変更内容

名称	海の森公園		種類	海浜公園	
所在地	中央防波堤内側 及び 中央防波堤外側				
面積	変更計画	149.1ha	陸域	94.6ha	(増11.0ha 減3.1ha)
	既定計画	87.9ha	水域	54.5ha	
			陸域	86.7ha	
今回変更計画増減	61.2ha		水域	1.2ha	
			陸域	7.9ha	
			水域	53.3ha	
主な海上公園施設の種類及び名称	既定計画 1 斜面地の防風の森、観察と保全の森や海辺など自然環境の回復、保全のための施設 2 人々が集い、触れ合う草地や疎林、海辺などレクリエーションのための施設 3 樹林地や海浜、観察施設など自然に親しむための教養施設 4 都民等との協働による緑化のための詰所、苗畑などの管理施設 5 駐車場などの便益施設 変更計画 1 斜面地の防風の森、観察と保全の森や海辺など自然環境の回復、保全のための施設 2 人々が集い、触れ合う草地や疎林、海辺などレクリエーションのための施設 3 樹林地や海浜、観察施設など自然に親しむための教養施設 4 都民等との協働による緑化のための詰所、苗畑などの管理施設 5 駐車場などの便益施設 6 ポート・カヌーの競技場及びこれに付随する施設				
自然環境の保全	既定計画 都民との協働による樹林地や草地の造成、海辺や磯浜、湿地の整備により、多様な生き物が生育できる場をつくり出し、自然環境の回復と保全を行う。 変更計画 変更なし				
交通手段の確保	都バス（波01） 環境局中防合同庁舎前 下車				

5) 海上公園計画決定の履歴

告示日：平成19年2月

内容：当初計画 面積87.9ha（陸域86.7ha 水域1.2ha）

6) 後利用の方向性 ※平成27年6月5日オリンピック・パラリンピック準備局公表から抜粋 国際大会が開催できるボート・カヌーの競技場及び育成・強化の拠点とするほか、多目的な水面利用を図り、都民のレクリエーションの場、憩いの場としていく。

- 1 国際・国内競技大会の会場
- 2 競技力強化・指導者育成の拠点
- 3 スポーツ教育・環境教育の場
- 4 総合的なスポーツ利用
- 5 都民のレジャー・レクリエーションの場

7) 整備手法

デザインビルド発注方式（設計・施工一括発注方式）

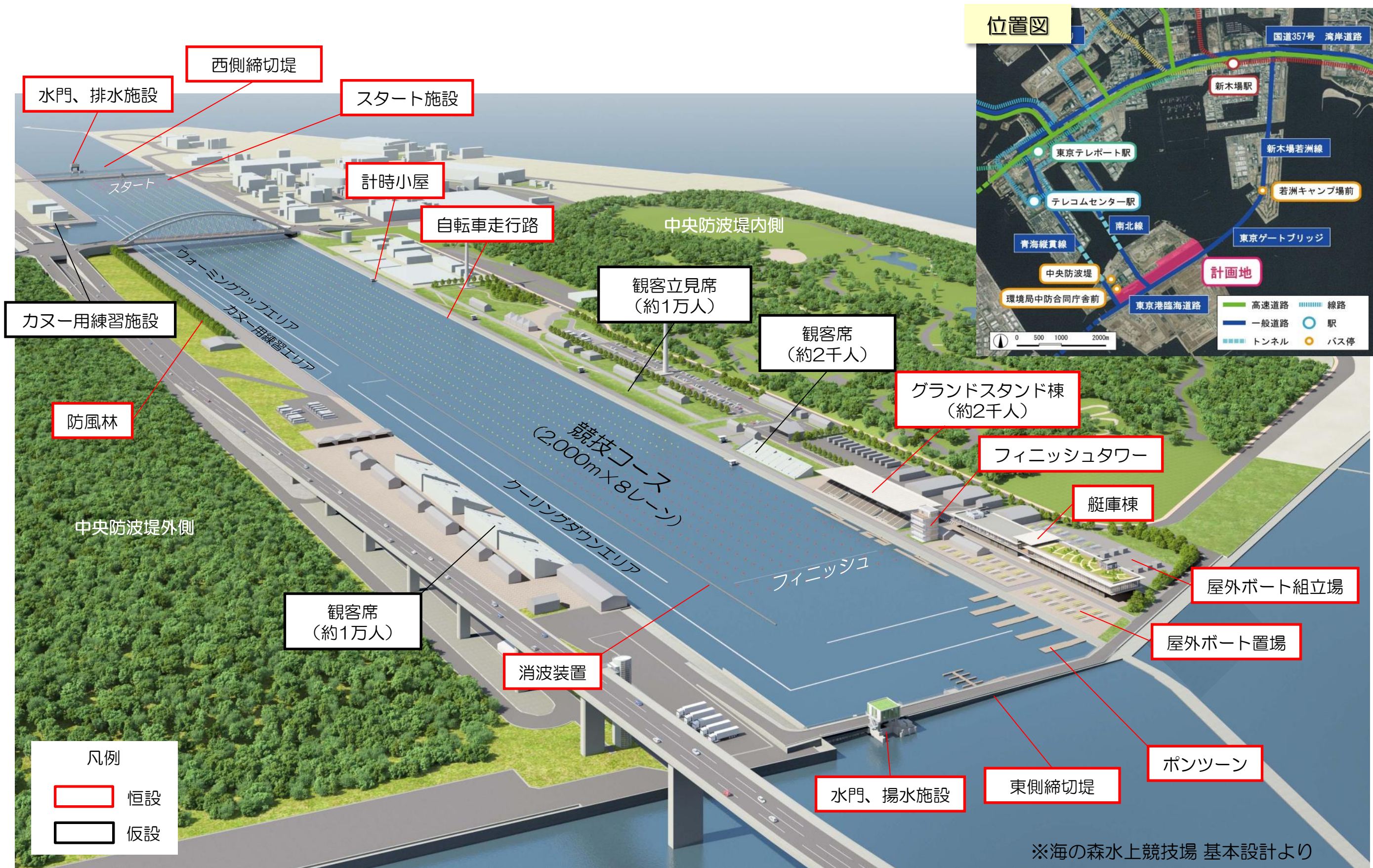
8) 整備スケジュール

平成28年度 実施設計・工事

平成30年度末 竣工予定

平成32年度 東京2020大会

海の森公園 今回計画区域 整備イメージ



※海の森水上競技場 基本設計より

※平成27年10月時点